

第14回自然免疫シンポジウム

若返りと自然免疫

自然免疫は、体内の異常や老化細胞を感知し、除去や修復を担う重要な防御機構であり、若返りにも関わっています。本シンポジウムでは、自然免疫の若返りへの関与に焦点を当て、加齢や慢性炎症、生活習慣、さらには再生・修復機構との関連について、先駆的で興味深い研究を展開している先生方をお招きし、最新の話題をお届けします。

日 時 2026年 3月 6日（金）13:00～16:45

場 所 グランパークカンファレンス 401ホール
(東京都港区芝浦3-4-1／JR田町駅から徒歩5分)

定 員 120名

参加費 無 料

「若返りや抗老化と自然免疫」

本田 晃子 氏 (麻布大学 生命・環境科学部 教授)

「アサイゲルマニウムの自然免疫活性化作用—赤血球の若返り効果—」

武田 知也 氏 * (株)浅井ゲルマニウム研究所 研究部 生物室室長) *発表者

麻生 久 氏 (東北大学 名誉教授)

「細胞レベルの老化とマクロファージとLPS」

河内 千恵 氏 (自然免疫制御技術研究組合 理事)

「健康寿命を延伸する最高の腸活」

辨野 義己 氏 (一般財団法人辨野腸内フローラ研究所 理事長)

申 込

参加申込

メール(ciitra@shizenmeneki.org)
または右のQRコードからお申込下さい。



主 催

自然免疫制御技術研究組合



【自然免疫制御技術研究組合HP】

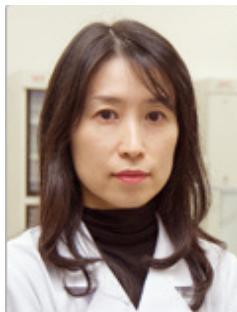
■スケジュール

13:00 開会・来賓挨拶		
13:20~13:55 「若返りや抗老化と自然免疫」		本田 晃子 氏
13:55~14:55 「アサイゲルマニウムの自然免疫活性化作用 —赤血球の若返り効果—」		武田 知也 氏
14:55~15:20 休憩		
15:20~15:40 「細胞レベルの老化とマクロファージとLPS」		河内 千恵 氏
15:40~16:40 「健康寿命を延伸する最高の腸活」		辨野 義己 氏
16:45 閉会		

■講演者紹介

本田 晃子 氏

(麻布大学 生命・環境科学部 教授)



熊本大学教育学部卒業。
名古屋市立大学にて医学(博士)取得。
熊本大学医学部助教を経て、2008年から
麻布大学生命・環境科学部准教授。2021
年より現職。
マクロファージの多彩な機能に興味を持
ち、その機能変化による病気の治療や予
防の可能性について研究を行っている。

武田 知也 氏

(株式会社浅井ゲルマニウム研究所 研究部 生物室室長)



2012年明治大学大学院農学研究科農芸
化学専攻博士前期課程修了。同年、
(株)浅井ゲルマニウム研究所入社。
2020年東北大大学院農学研究科応用
生命科学専攻博士後期課程修了。有機
ゲルマニウム化合物の生理作用、主に
「赤血球代謝回転促進作用」について
研究を行う。現在は熊本大学で民間等
共同研究員として、「アサイゲルマニ
ウムが正常ヒトマクロファージに与え
る影響」について研究を行っている。

河内 千恵 氏

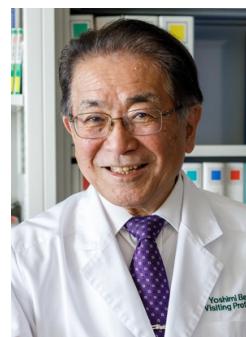
(自然免疫制御技術研究組合 理事)



立命館大学理工学部化学科卒業後、広島
大学大学院工学研究科・博士課程修了
(工学博士)。ファイザー製薬(株)、
日本学術振興会・がん特別研究員、帝京
大学生物工学研究センター・助手、広島
大学アイソトープ総合センター・助手を
経て、2006年から自然免疫応用技研株式
会社代表取締役。2011年より現職。LPS
の生理的作用解明と実用化研究に取り組
んでいる。

辨野 義己 氏

(一般財団法人辨野腸内フローラ研究所 理事長)



国立研究開発法人理化学研究所・名譽
研究員、十文字学園女子大学・客員教授
東京大学農学博士。
研究対象課題：腸内細菌の分類と生態
酪農学園大学獣医学部卒、東京農工大學
大学院獣医学専攻を経て理化学研究所
動物薬理研究室研究員同所バイオリゾ
ースセンター微生物材料開発室室長。
2009年以降、特別招聘研究員として辨
野特別研究室を主宰。2021年より現在
に至る

■アクセス

グランパークカンファレンス

東京都港区芝浦3-4-1

田町グランパーク プラザ棟 4F 401ホール

【最寄りの交通機関】

- ・JR田町駅から徒歩5分
- ・地下鉄都営浅草線・三田線
三田駅から徒歩7分

【ご案内図】



問い合わせ先

自然免疫制御技術研究組合

所在地：香川県高松市林町2217-16 FROM香川3F

TEL: 087-813-9201 FAX: 087-813-9203

E-MAIL: ciitra@shizenmeneki.org

ホームページ：<https://shizenmeneki.org/>